平成２９年度　社会福祉法人本庄市社会福祉協議会事業計画

「みんなで支えあう　思いやりのあるまち　本庄」

○事業経営の方針

近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化等の社会の変化に伴い、育児、介護、障害、貧困等の問題に同時に直面する世帯が増えています。一つの世帯の中で複合化・複雑化した課題を有する等、地域住民が抱える福祉ニーズは多様化しており、地域福祉の再構築が大きな課題となっています。

こうした地域の状況に対応するため、地域住民が他人事を「我が事」として感じ、地域で「丸ごと」受け止める機能が求められています。社会福祉法人制度改革においても、社会福祉協議会を含む各社会福祉法人は、公益性の高い組織として、地域ニーズを的確に把握し、これらのニーズに対応した多様な取り組みの実施が求められているところです。

平成２９年度は、民生委員制度の源である済世顧問制度創設１００周年を迎えます。地域住民にとって最も身近な存在としての役割は大きく、関係機関と連携した取り組みが、ますます期待されるところです。社会福祉協議会も民生委員と協働する機会が増えており、市や地域包括支援センター等も含めた、さらなる連携強化が必要と考えます。社会福祉協議会として、地域の様々なフォーマル・インフォーマルな資源とのネットワークづくりを通して、地域の要支援者の見守り体制の整備等に努めます。

本庄市社会福祉協議会は、平成２９年度も引き続き「みんなで支えあう　思いやりのあるまち　本庄」の実現を目指し、市民のみなさんや、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会をはじめとする地域福祉団体やボランティア団体、行政などの専門機関等と連携しながら、市民が住み慣れた地域で安心して生活することができるために、一層の地域福祉の推進に取り組んでまいります。

「地域福祉を支える担い手づくり」

あらゆる世代の福祉への理解促進のために啓発活動を行い、小地域で活動する人材の発掘・育成に努めるために

○福祉教育・啓発活動の充実

小中学校等における福祉教育（総合学習）の支援

小中学生ボランティアスクールの開催

ふくしフェスタの開催

○地域に必要な福祉人材の確保とボランティアの育成支援

ボランティア体験事業の実施

おとなボランティアスクールの開催（新規）

手話奉仕員養成講座の開催

○地域をつなぎ支える担い手との連携強化

高齢者世帯等安否確認事業の推進

配食サービス事業の実施

生活支援コーディネーター業務の受託

生活支援の担い手の養成・育成（新規）

「みんなで助け合い、支えあうしくみづくり」

地域内交流・世代間交流を推進し、地域コミュニティによる見守り活動や地域情報を共有するためのネットワークを充実させるために

○小地域福祉活動の推進

活動者（福祉委員等）による地域見守り活動の支援

アウトリーチ（地域へ出向く）の推進

○交流の場や機会づくり

ふれあいいきいきサロン・福祉サロンの活動支援

地域会食事業の充実

○防災・災害支援活動の充実

災害ボランティア登録の推進

「地域の生活を支えるしくみづくり」

福祉サービスに関する情報提供・相談体制の充実を図り、利用者の立場に立った福祉サービスを充実させるために

○相談情報提供体制の充実

各種相談事業（心配ごと・結婚等）の推進と利用の促進

社協広報紙「社協だよりハート＆ハート」の充実

○地域での自立生活支援

生活福祉資金等貸付事業の実施

彩の国あんしんセーフティネット事業の実施

権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業等）の推進

介護保険事業（居宅介護支援・訪問介護）の推進

児玉郡市手話通訳者派遣事業の受託運営

○福祉サービスの充実

在宅福祉有償家事援助サービス事業の推進

ファミリー・サポート・センター事業の受託運営

本庄西地域包括支援センター業務の受託運営

その他

１．地域福祉を推進するための社協組織強化と安定した財源の確保

・第２次本庄市地域福祉活動計画の策定準備（新規）

・組織及び人員体制の整備

・会員加入の促進と会費収入の強化

・自動販売機設置経営事業の実施

２．共同募金事業の推進

・赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動の推進

３．日本赤十字社事業の推進

・被災世帯への物資（布団・毛布・日用品）の提供

・赤十字会員募集活動